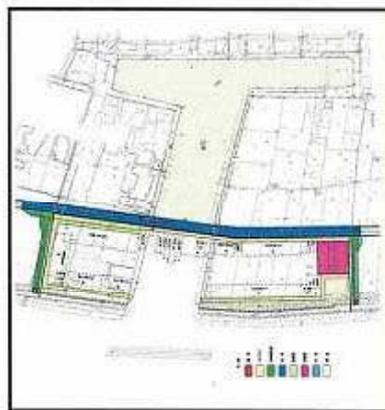


湖岸堤防の実施箇所の進捗状況  
 <整備目標 I (短期整備箇所)> : 渡漁港箇所の現況



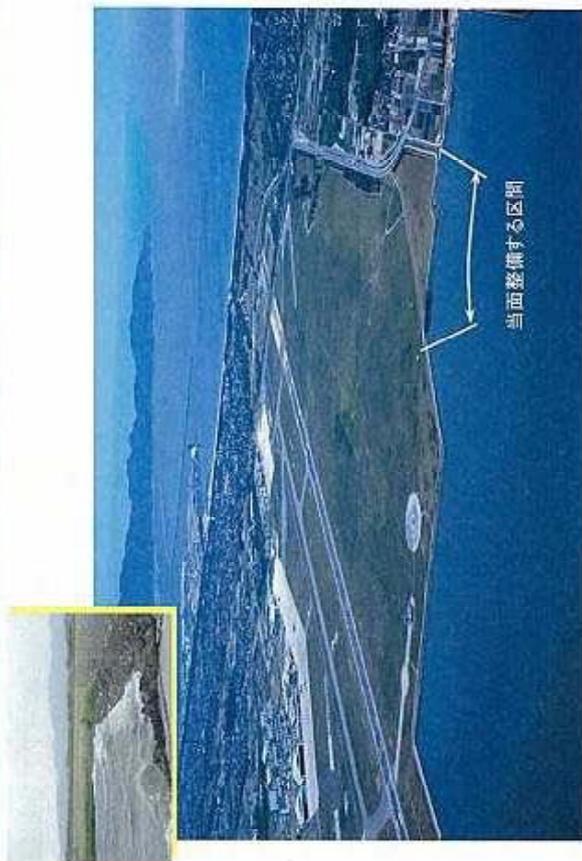
現在の取り組み状況

- ・H22年度 護岸等詳細設計
- ・H22年度内 港内の用地買収
- ・H23年度 工事着手



漁港を前出しする整備計画(案)

<整備目標 I (短期整備箇所)> : 空港南箇所の現況



現在の取り組み状況

- ・全体整備計画1,000mのうち、当面、南側の300mの区間を整備
- ・堤防敷地が防衛省用地のため、現在、用地の所管換について申請中
- ・H22年度 堤防の詳細設計の実施と、一部工事着手の予定
- ・H23年度以降 工事の進捗を図る

＜整備目標 I (短期整備箇所)＞：崎津漁港箇所<sup>の</sup>現況



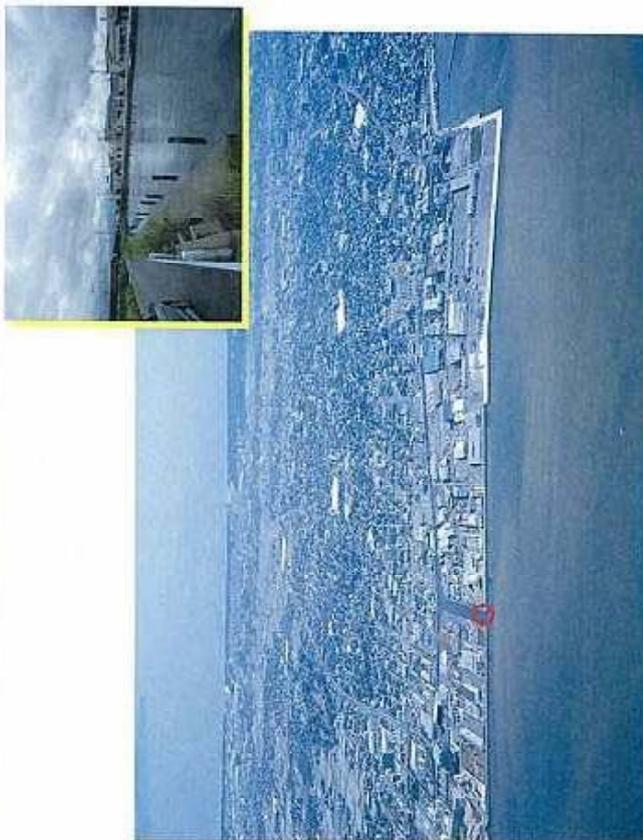
施工状況

施工状況

H22年度より工事着手し、今年度内に工事完了の予定

- ・胸壁工 L=360m
- ・堤防 L=80m
- ・陸閘門 4基

＜整備目標 I (短期整備箇所)＞：旗ヶ崎箇所<sup>の</sup>現況



現在の取り組み状況

- ・H22年度 水門の詳細設計を実施するための地質調査等を実施
- ・上記の調査後、水門詳細設計の実施を予定

＜整備目標 I (短期整備箇所)＞：野原箇所の現況



現在の取り組み状況

- ・H22年度 護岸詳細設計の実施
- ・H22年度 島根県と合併施工のため協定締結に向けて調整中
- ・H22年度内 用地買収の予定

# 平成22年 台風4号における気象及び防災情報発表及び防災情報発表について

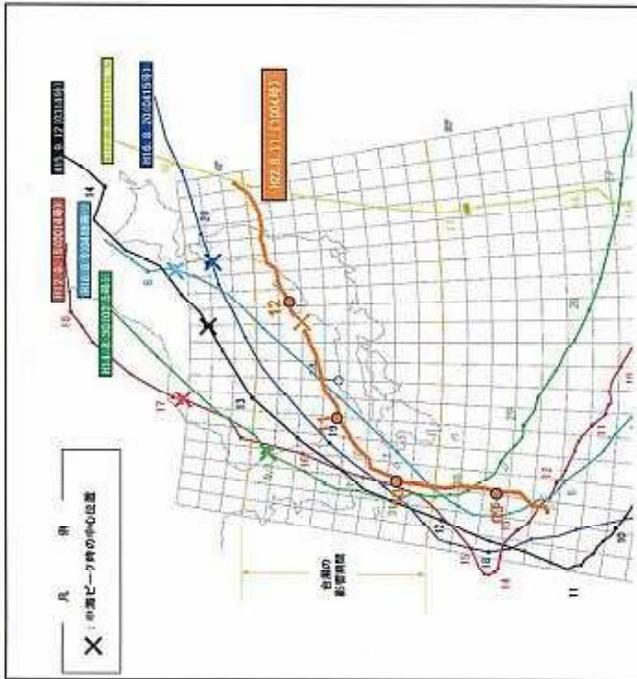
※関係市町(米子市、境港市、松江市、安来市、東出雲町)へ、事前(8月10日15時頃)に情報提供を行い、注意喚起!!

②今回の台風情報

- ・台風の予測経路、天文潮位

①過去の高潮被害をもたらし、台風情報

- ・台風経路、実潮潮位、天文潮位



中海湖心がはん濫危険水位0.9m以上となった台風の移動経路

## 日本海新聞

平成22年8月13日(金) 23面

### 一時はんらん危険水位超え

台風4号の影で、中海湖心がはんらん危険水位を超え、沿岸部に大きな被害をもたらした。午前8時半から水位は下降し、午後8時半、同市灘町1丁目まで排水路に水が逆流し、民家1軒で床下浸水が発生。中海に連動して水位が上昇した向市の旧里茂川でも水防警報が発令された。一方、境港市の養老湾に面した中野瀬では、台風による高潮の襲撃と併せて、高潮水が氾濫する恐れがあった。

日本海新聞 平成22年8月13日(金) 23面

中海と連動して水位が上昇し、護岸のコンクリートが崩壊した。米子市の旧加茂川河口付近=12日午前8時半、同市灘町1丁目



### 1. 事務所水防体制

発表日時	注意体制	警戒体制	注意体制	解除
8月11日 13:40	4:40	19:00	8月12日 11:00	解除

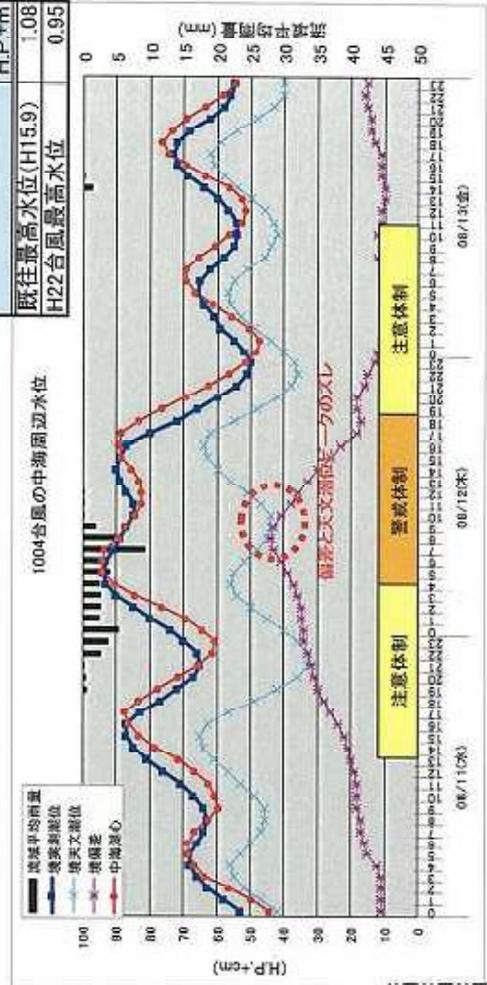
### 2. 水防警報

地域	待機	準備	出動	指示	解除
松江	8月12日 8:10				8月13日 9:00
中海	8月11日 13:40		8月12日 4:50	8月12日 4:00	8月13日 9:00

### 3. 水位周知情報

発表日時	警戒情報	解除
8月12日 5:40	中海はん濫警戒情報	8月13日 9:00

・偏差と天文潮位ビークがズレている。  
 ・重なった場合、中海の水位が1mを超える恐れがあった。  
 ・洪水、特に強い降雨は見られなかった。

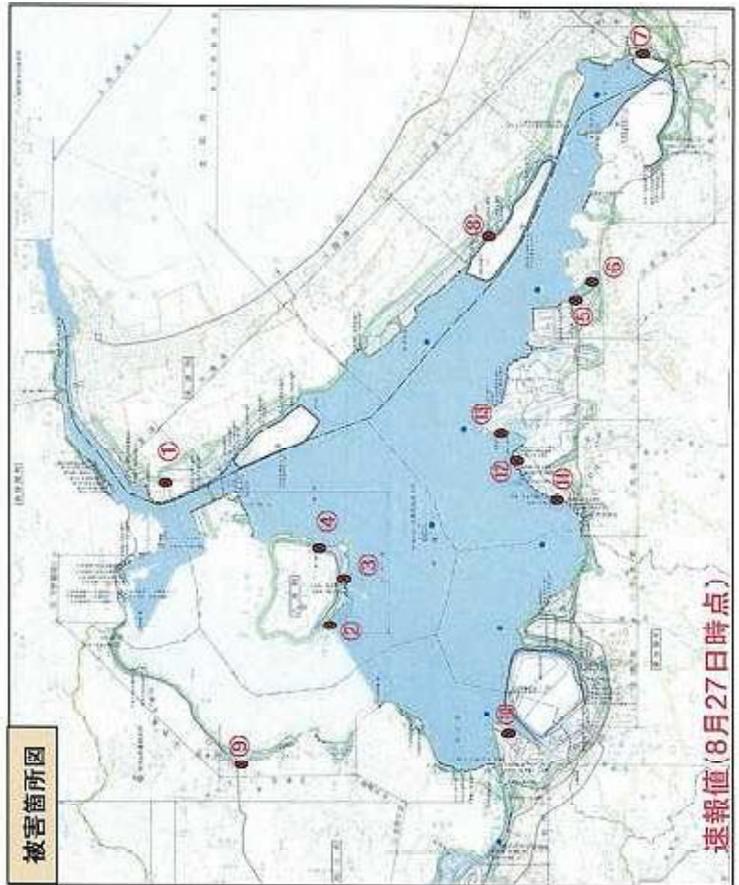


# 平成22年 台風4号の対応及び被害

出雲河川事務所

## 被害箇所一覧

市町村名	地名	距離表	浸水内容	位置番号	水防活動	出典
島根県境港市	外江地先	R: 8k-900	道路冠水	①		境港市
島根県松江市	入江港付近	大: 8k700	道路冠水	②		出雲河川遊視
島根県松江市	流入港付近	大: 5k-900	道路冠水	③		"
島根県松江市	運江地先	大: 4k-200	道路冠水	④		"
島根県安来市	安来町地先	R: 41k付近	道路冠水	⑤	通行止め	島根県
島根県安来市	南十神地先	R: 41k付近	道路冠水	⑥	通行止め	"
島根県米子市	孤園町地先	R: 28k-500 付近	宅地浸水	⑦		鳥取県
島根県米子市	彦名町地先	R: 20k-500	田畑冠水	⑧		出雲河川遊視
島根県松江市	本庄町・新庄町地先	L: 19k付近	田畑冠水	⑨		"
島根県松江市	富士見町地先	R: 61k 付近	道路冠水	⑩		"
島根県安来市	荒島町地先	R: 50k-800	田畑冠水	⑪		"
島根県安来市	荒島町地先	R: 49k-500	田畑冠水	⑫		"
島根県安来市	赤江町地先	R: 47k-400	道路冠水	⑬	通行止め	"



## 排水ポンプ車の出動(被害箇所⑬)

安来市内を流れる飯梨川河口の宮須樋門付近では道路が約20cm冠水したため、12日の夕方に排水ポンプ車(30m<sup>3</sup>/分)を出動させ、作業開始後約1時間で道路の冠水が解消されました。



## その他の被害事例



## 自治体等の水防対応事例



## 「中海の水質及び流動会議」設置要綱（事務局案）

### （目的）

第1条 中海会議設置要綱第6条に基づき、中海の水質及び流動などの調査・分析を行うとともに、水質改善策の評価・検討を行う部会として「中海の水質及び流動会議」（以下「会議」という。）を設置する。

### （組織）

第2条 会議における調査・分析結果並びに水質改善策の評価・検討結果は、中海会議の幹事会に諮り、中海会議に対して報告する。

### （所掌事務）

第3条 会議は、第1条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事務を行う。

- （1）水質及び流動などの調査・分析
- （2）水質改善策の評価・検討
- （3）その他必要な事項

### （構成）

第4条 会議の構成員は別表のとおりとする。

- 2 会議は、中海会議の開催県の環境担当課長が主宰する。
- 3 会議においては、学識経験者等に意見を聞くことができる。

### （事務局）

第5条 会議に事務局を置く。

- 2 事務局は、鳥取県生活環境部水・大気環境課、島根県環境生活部環境政策課及び国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所に置き、会議の開催県の事務局が主務を掌る。

### （その他）

第6条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会議において定める。

別表（第4条関係）

構成員

団体名	職名
国土交通省中国地方整備局	出雲河川事務所長
環境省中国四国地方環境事務所	環境対策課長
農林水産省中国四国農政局	農地整備課長
鳥取県	生活環境部 環境立県推進課長 水・大気環境課長 企画部企画課長 農林水産部 農地・水保全課長 県土整備部 河川課長 衛生環境研究所長 西部総合事務所 生活環境局長
島根県	環境生活部 環境政策課長 政策企画局 政策企画監 農林水産部 農村整備課長 土木部 河川課長 下水道推進課長 保健環境科学研究所長
米子市	環境政策局長
境港市	産業環境部長
松江市	環境保全部長
安来市	市民生活部長
東出雲町	農林建設課長

## 第1回 中海の水質及び流動会議（仮称） 次第 （案）

日時：平成22年9月16日（木）

14：00～16：00

場所：米子ワシントンホテルプラザ2階  
「らんの間」

### 1 あいさつ

### 2 「中海の水質及び流動会議」設置要綱について

### 3 議 事

- (1) 水質及び流動等の調査・分析結果について
- ・平成21年度中海水質・流動等測定結果
  - ・平成22年度中海水質・流動等測定計画

- (2) 第5期中海湖沼水質保全計画の進捗状況
- ・鳥取県の水質保全施策の進捗状況
  - ・島根県の水質保全施策の進捗状況
  - ・国土交通省の水質保全施策の進捗状況
  - ・市町の水質改善施策の進捗状況

- (3) 今後の水質改善のあり方について（意見交換）

○情報提供等

- ・農林水産省からの情報提供
- ・環境省からの情報提供
- ・国土交通省からの情報提供
- ・その他の情報提供

○今後の部会の進め方について

### 4 その他

## 「中海沿岸農地排水不良ワーキング・グループ」設置要綱（案）

### （目的）

第1条 中海会議設置要綱第1条の目的を達成するために、中海沿岸の農地における排水不良を協議検討する「中海沿岸農地排水不良ワーキング・グループ」（以下「ワーキング・グループ」という。）を設置する。

### （組織）

第2条 会議における検討結果は、中海会議の幹事会に諮り、中海会議に対して報告する。

### （所掌事務）

第3条 ワーキング・グループは、次の各号について協議検討する。

- (1) 中海沿岸（彦名・崎津）の農地排水不良対策検討
- (2) その他必要な事項

### （構成）

第4条 ワーキング・グループの構成員は、別表のとおりとする。

### （事務局）

第5条 ワーキング・グループに事務局を置く。

- 2 事務局は、米子市経済部農林課とする。
- 3 ワーキング・グループは事務局が必要に応じて招集し、ワーキング・グループの進行は、事務局が行う。

### （その他）

第6条 この要綱に定めるもののほか、ワーキング・グループの運営に関し必要な事項は、ワーキング・グループにおいて定める。

### 附則

この要綱は、平成22年 月 日から施行する。

### 別表（第4条関係）

#### 1 構成員

団 体 名	部 課 名
米子市	企画部企画課 経済部農林課
国土交通省（中国地方整備局）	出雲河川事務所
農林水産省（中国四国農政局）	整備部（農地整備課）
鳥取県	企画部企画課 農林水産部農地・水保全課 西部総合事務所県民局 〃 農林局

## 崎津モデル地区予定地への工事残土搬入について

### 経過

平成22年8月

- 4日 境港湾・空港整備事務所発注工事で、約3,000m<sup>3</sup>の工事残土がでるとの情報提供があった。
- 6日 地元関係者に工事残土の件を伝え、地元関係者での検討を依頼。
- 9日 地元関係者で検討したところ、土質の確認をした上で工事残土を受け入れたいとの事。
- 13日 境港湾・空港整備事務所工事担当官に地元関係者の意向を説明。
- 18日 地元関係者、境港湾・空港整備事務所、米子市で現地立会及び残土の土質の確認を行った。

- ①残土の土質について地元了解。(残土サンプルによる)
- ②現地にて残土の搬入区域の確認。  
(モデル地区の内、特に低い圃場のある中海側を中心に搬入)
- ③表土は剥がず、そのまま搬入。
- ④圃場の境界に杭を設置する。  
(地元関係者で行う)
- ⑤搬入経路等の確認。  
(詳細は、再度打ち合わせを行う)

### 工事概要

工事名 美保航空基地エプロン新設等工事  
運搬時期 平成22年9月上旬～10月中旬予定  
運搬量 約3,000m<sup>3</sup>



## 中海の利活用に関するワーキンググループ設置要綱

### (趣旨)

第1条 中海会議設置要綱第2条の規定に基づき、中海の利活用について協議検討する「中海の利活用に関するワーキンググループ」(以下「ワーキンググループ」という。)を設置する。

### (組織)

第2条 ワーキンググループにおける検討結果は、中海会議の幹事会に報告する。

### (検討事項)

第3条 ワーキンググループにおいては、次の事項について協議する。

- (1) 中海の賢明な利活用策(ワイズユース)の検討
- (2) その他必要な事項

### (構成)

第4条 ワーキンググループの構成は、別表のとおりとする。

2 ワーキンググループは、必要に応じて別表に掲げる者以外の関係者の意見を聞くことができる。

### (事務局及び運営)

第5条 ワーキンググループに事務局を置く。

- 2 事務局は、鳥取県企画部企画課及び島根県政策企画局政策企画監室に置く。
- 3 ワーキンググループは、事務局が必要に応じて招集する。

### (その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、ワーキンググループにおいて定める。

附則 この要綱は、平成22年9月2日から施行する。

### 別表

団体名	部課名
国土交通省中国地方整備局	出雲河川事務所
環境省中国四国地方環境事務所	米子自然環境事務所
松江市	政策部大橋川治水事業推進課
安来市	基盤整備部国・県事業推進室
東出雲町	農林建設課
米子市	企画部企画課
境港市	総務部地域振興課
鳥取県	企画部企画課 生活環境部水・大気環境課 西部総合事務所県民局 生活環境局
島根県	政策企画局政策企画監室 環境生活部環境政策課 自然環境課

## 地中海の利活用に関する検討テーマ案等について

<H22.9.2 地中海の利活用に関する WG>

### 【検討テーマ案(切り口)】

#### ○一体感の醸成 ～地中海でつながる～

- ・地中海の利活用に関し、例えば“10年で泳げる海に”(中海再生プロジェクト)というよう  
なわかりやすいスローガンのものを掲げる。  
→ 沿岸住民、行政機関も含めた一体感の醸成を図る

#### ○水面のスポーツ利用 ～地中海に親しむ・遊ぶ～

- ・ボート、ヨット、ペーロン、マラソン、サイクリングなど、地中海の水面と湖岸の活用がさら  
に進む取組みを考え、住民の活動を盛り上げる。  
→ 親しむことで、地中海の存在、その環境への意識の向上を図る

#### ○海藻の利用 ～地中海で循環する～

- ・地中海の海藻を回収して加工し、農作物の肥料とする、というような海藻の利活用事業  
を応援する。  
→ 水質浄化と併せて新しい産業の拡がりにも繋がるリサイクル事業を推進

#### ○食文化 ～地中海の恵みをいただく～

- ・地中海からとれる生産物の食品としての利用の研究や、食文化の伝承の取組みの拡大や内外  
への周知を促進する。  
→ 海藻加工品、アカガイ、ハゼ など  
豊かな食材にスポットをあてることにより環境意識の向上にもつなげる

#### ○環境学習 ～地中海を知る～

- ・地中海は、環境を学ぶには第一級の“資源”
- ・「環境学習プログラム」の作成、沿岸の学校や住民等の学習機会での活用など、地中海を学ぶ  
機会の拡大を図る。  
→ 持続可能な利活用のためには、地中海を“知る”ことから

### 【検討の視点】

#### ◇ワイズユースの視点

- ・環境の保全、環境との調和の視点が大前提

#### ◇住民が主役

- ・住民・民間団体等によってなされている様々なワイズユースの取組みを尊重
- ・このWGでは、プレイヤーである住民・民間の取組みをバックアップ、サポートする方策、  
しくみを中心に検討

# 中海の水面利用の現状

鳥取県西部総合事務所

**背景** 楽しく遊ぶ、スポーツ、観光など、自然環境と調和した新旧様々な利用が行われている。  
 (様々な観点でのアプローチ)  
 泳げる中海の復活を……中海を水上スポーツのメッカに……  
 環境と景観をテーマにした観光を……中海圏域の一体感を目指して……

観点	場所	利用	実行者
遊び イベント	米子市大崎	中海海開き・・・22.7.21 小学生が泳ぎ、アサリの分布調査・放流、アサリ汁	NP0未来守ネットワーク
	中海湖岸	住民の自由な散策、釣り、等	個人
	中海湖岸一周	中海一周計画・・・22.8.13、14 若者が、歩いて中海一周(60km)	トライ・トリビュートプロジェクト(鳥取県出身の県外在住者)
	中海安来湖岸	第6回なかうみマラソン全国大会・・・22.11.7 定員5,000名、8コース	安来市
	米子港ボート場～米子城山	【過去】アイラブ中海スイムラン全国大会 H12まで7回。デュアスロン	実行委員会
	安来市 十神山湖岸	水辺遊び(人工砂浜)・・・隣接してキャンプサイトあり	個人
	松江市本庄	水辺の楽校(出雲河川事務所造成) 小学生等が、水遊び、観察	個人・団体
スポーツ	中海湖岸道	サイクリング	個人
	中海の港湾	中海レガッタ・・・22.9 安来港?未確定	境港ボート協会、中海市長会
	境水道	境港ボートレース	境港ボート協会
	境水道	第22回境港ペーロン大会(22.8.1)	境港ペーロン協会
	境港市中浜港	マスターズレガッタ、境港ボートマラソン大会	境港ボート協会
	錦海ボートコース	第42回米子市民レガッタ(22.7.4)	米子ボート協会
	中浜港	こどもペーロン大会(中浜港)	境港市ライオンズクラブ
	大橋川特設コース	第27回松江市市民レガッタ(22.7.24、25)	実行委員会・松江ボート協会
	中海	日本ジュニアヨット連盟の大会	日本ジュニアヨット連盟
	飯梨川河口	パラセーリング	個人
観光	米子湾周辺	加茂川・中海遊覧船・・・H15～ 年間2,400人程度。船三艘	住田船頭
	松江～境港	中海遊覧船(白鳥観光)・・・H17～19定期運行 現在は、イベント時に中海遊覧	白鳥観光・広域観光事業連携推進協議会
	中海一帯	中海八景・・・H18選定、写真コンテスト	境港市観光協会
	中海湖周	湖岸コースを選定・・・H19	レーク街道推進協議会
漁業	中海	漁業	鳥取県漁業協同組合境支所、米子市漁協、外江漁協、渡漁協、JFしまね美保関支所、中海漁協、八東中海漁協
環境	中海	湖上学習会、体験クルージング、調査、観察会	多数
	中海	学習拠点施設	米子水鳥公園

**中海振興ビジョン** (22.3 中海市長会)に盛り込まれている方向性  
 ・中海を活用したボート・ヨットレースの開催や中海遊覧船の就航など、豊かな自然を活用し、住民同士の交流や圏域の発展に役立つイベントや事業の実施。  
 ・中海レガッタなどスポーツイベントを通じた圏域の一体感の醸成。  
 中海の自然を活かした、水上スポーツ拠点整備、中海一周駅伝・なかうみマラソン、トライアスロン等の開催。

**課題** 泳げる中海の復活を……運動の裾野の拡大。⇒周知と理解  
 中海を水上スポーツのメッカに……資金、全国への情報発信、子供の参加と裾野拡大  
 環境、景観等をテーマにした観光を……魅力ある商品づくり、ガイドの確保。  
 中海圏域の一体感を目指して……一体感を確保するには、  
 漁業……担い手、儲かる仕組み。水産資源の再生。  
 環境・自然再生……取り組みが知られていない



# なかうみ しんじこ 中海・宍道湖ラムサール条約湿地登録5周年記念事業等について

( 島根県・鳥取県連携事業 )

中海・宍道湖が、それぞれラムサール条約湿地に登録（H17.11.8）されてから、本年11月で5年を迎える。これを記念して、島根県、鳥取県、中海周辺自治体（5市2町）、NPO及び地域住民等が連携し、世界的に貴重な財産である中海・宍道湖の豊かな自然とその恵みを、次世代へ引き継いでいくよう環境保全活動、賢明利用（ワイズユース）、交流・学習等を実施する。

## 1 ラムサール条約湿地登録5周年記念事業（予算額25,900千円(両県折半)）

「次世代へつなぐ!豊かな中海・宍道湖」をテーマに、3本柱で事業を展開する。

区 分	開催時期	開催場所
記念展示 「中海・宍道湖を知る・学ぶ展」	9月29日（水）から 10月9日（土）まで	くにびきメッセ（松江市） （10/2（土）オープニングセレモニー） （9/29（水）～10/1（金）・小中学生を対象とした学習見学会）
シンポジウム・ミニ展示 「次世代へつなぐ豊かな恵み」	10月30日（土） 13:20～16:00	米子市文化ホール（米子市）
次世代を担う両県及び北東アジア のこどもたちの交流	10月8日（金）から 10月10日（日）まで	米子水鳥公園など中海及び宍道湖の拠点施設

### (1) 記念展示 「中海・宍道湖を知る、学ぶ展」

「中海・宍道湖に生息する生き物」の水槽展示のほか、「3Dミニシアター」や「中海・宍道湖の形成過程と歴史」など、分かりやすく展示解説する。

①成り立ち：両湖の地形変遷と歴史、 ②暮らし（食べ物編）：風土記時代の朝酌市場や遺跡の出土品、 ③暮らし（生活編）：50年前の水面下の様子と藻刈り、漁具・漁法、 ④両湖の生き物（水辺に出かけよう）：ミニ水族館や水鳥のはく製、 ⑤活動（両湖を守るために）：登録から5年間の活動 ⑥市民作品：懐かしの写真や野鳥ポスターを紹介する。

#### ①成り立ち 両湖の地形変遷と歴史紹介



両湖の変遷



クジラの化石

#### ④両湖の生き物（水辺に出かけよう） ミニ水族館や水鳥のはく製展示



ミニ水族館



はく製

#### ②暮らし（食べ物編） 風土記時代の朝酌市場や周辺遺跡の出土品を紹介



風土記時代の朝酌市場



出土品（釣り針）

#### ⑤活動（両湖を守るために） 登録から5年間の活動と私たちができることを紹介



中海・宍道湖一斉清掃



ヨシ再生プロジェクト

#### ③暮らし（生活編） 50年前の水面下の様子と藻刈り、漁具や漁法を紹介



中海での藻刈り



漁具

#### ⑥市民作品 懐かしの写真や野鳥ポスターを展示



明治大正時代の塚が島



平成21年度入賞作品

## (2) シンポジウム（ミニ展示を含む）【両県知事出席予定】

地域での環境保全活動やラムサール条約湿地を通じた両県と世界のこどもたちとの交流報告をはじめ、専門家の講演、両県にかかわりの深い著名人のトークショーなどを実施する。

また、次世代を担う両県のこどもたちが、合唱やミュージカルで参加し、今後の活動のあり方などを考える。

順	プログラム	概要
1	オープニング・映像	○中海・宍道湖の一日を幻想的な映像で紹介
2	オープニング・合唱	○鳥取のこどもたち 山陰少年少女合唱団「リトルフェニックス」
3	開 会	○条約登録の経緯やシンポジウムの趣旨を説明
4	主催者あいさつ	○両県知事あいさつ
5	地域NPOの活動報告	○鳥取県、島根県2団体
6	こども国際交流報告	○日韓こども交流会(10/7-10/9)の概要報告 ○COP10・ラムサール関係国際会議の参加報告
7	著名人ビデオメッセージ	○ 両県ゆかりの著名人からのメッセージ紹介 ・向井 理(ゲゲゲの女房・しげる役) ・佐野史郎(島根県出身)
小 休 憩		
8	記念講演	「水鳥に学ぶ、いのちのつながり」 (財)日本野鳥の会主任研究員 安西英明氏 ・NHK ラジオ「季節のいのち」出演 10年以上 ・日本初のウトナイ湖「チーフレンジャー」
9	トークショー 「未来の中海・宍道湖のために 一人一人が出来ること」	○登壇者(予定) ・吉田栄作(島根県・遣島使、NHK「だんだん」出演) ・松本若菜(鳥取・女優) ※ゲゲゲの女房・調整中
10	アトラクション ・ミュージカル	○ 島根のこどもたち 「あいと地球と競売人」
11	「未来の中海・宍道湖へのメッセージ」 ・こどもたちから未来へ	○こどもたちの代表のメッセージ(各県2名程度)
12	フィナーレ「記念斉唱」	○会場全員

## (3) 移動展示

○鳥取県及び島根県内の事業所において、移動展示を実施する。

区 分	展示場所	展示期間(予定)
島根県	松江サティ	9/18(土)～9/25(土)
鳥取県	米子鬼太郎空港ビル	10/2(土)～10/17(日)
	ジャスコ日吉津店	10/19(火)～10/29(金)

○国、中海市長会、各市町、米子水鳥公園、ゴビウス等が実施される事業についても、5周年記念関連事業としてPRする。

実施機関	イベント名	開催期間	開催場所
島根県立美術館	企画展「山陰風景」	6/16～7/19	島根県立美術館
	企画展「水とともに」	8/18～11/29	
一畑電鉄㈱	みちくさウォーク	7/19、8/21	宍道湖周辺
環境省	中海子どもパークレンジャー	7/22～7/24	米子水鳥公園
中海市長会	中海子ども探検クルーズ	7/28	中海一周・発着は八束町
鳥取大学等	大山・日野川・中海学協会セミナー	10/9、10/30、 11/13、11/20	鳥取大学医学部
米子水鳥公園	湖の夕日の写真展	9/20～10/15	米子水鳥公園
	さおを作ってゴスを釣ろう	10/24	米子水鳥公園
島根県・ホシザキグリーン財団	KODOMO ラムサール探偵団	7/24、 10.11.1月中旬	宍道湖周辺
	環境学習プログラム	随時	ゴビウス
	宍道湖ぐるっと1周バスツアー	11月中旬	宍道湖周辺
	5周年記念特別展示	11/1～11/30	ゴビウス

◎協賛団体を依頼中・・・当該事業の応援団として、趣旨説明し賛同を依頼中(両県で200社程度に依頼中)



ラムサール条約登録 5周年記念

次世代へつなぐ! 豊かな中海・宍道湖

5<sup>th</sup>

同会場とも  
入場  
無料

松江  
会場

米子  
会場

記念展示

中海・宍道湖を  
知る、学ぶ展

日時 10.2(土) 9(土)

10:00~18:00(2日~3日/17:00まで、9日/15:00まで)

場所 くにびきメッセ(多目的ホール)  
松江市学園南1丁目2番1号

- ◆中海・宍道湖のおいたち  
中海・宍道湖に思いを寄せるとともに、両湖がどのように広がってきたかについて紹介。
- ◆中海・宍道湖と私たちの暮らし(食べ物編)  
道産から出土した暮らしの道具  
出雲国風土記記載の市場の様子
- ◆中海・宍道湖と私たちの暮らし(生活編)  
50年前の水質、気候の変化、漁獲風景  
漁具の展示、漁法など湖と暮らしの関わり など
- ◆水辺に出かけよう!ふれあい体験(生物編)  
水鳥、水生昆虫、魚などの観察スポット  
水鳥のはく製 など
- ◆湖にもっと親しく!私たちにもできることは?(活動編)  
身近な生活でできることは? ●調べ学習の方法は?  
登録から6年を振り返るコーナー  
市民活動コーナー など
- ◆みんなの中海・みんなの宍道湖  
なつかしの写真コーナー  
登録活用ポスターコンクール  
「ラムサール特別賞」入選作品

- 3Dミニシアター「みんなの中海・みんなの宍道湖」
- コピウス出張!「ミニ水族館」
- シンボルオブジェ・メッセージをみんなで作成!
- クイズラリー〜クイズを当てて賞品をゲット!
- みんなが審査員!中海・宍道湖七診料理対決!

◆ワークショップ【2日(土)・3日(日)】  
●「しじみのお話」/中村幹雄氏(財)日本シジミ研究会)  
●「貝殻のレプリカ作り」/協力:水子水鳥公園

★10月2日(土)~9日(日)の毎日10:30、13:30の2回  
→先着100名に宍道湖のしじみをプレゼント!

ホームページアドレス

<http://ramsar-ns.jp>

記念シンポジウム

次世代へつなぐ  
豊かな恵み

日時 10.30 13:20~16:00 (土)

場所 米子市文化ホール  
米子市末広町293番地

◆記念講演  
「水鳥に学ぶ、いのちのつながり」  
講師:安西英明さん  
(財)日本野鳥の会主催研究員

◆トークショー:「一人ひとりができること」  
●松本香菜さん(女優・水子出身)  
●吉田栄作さん(俳優/歌手 NHK「だんごん」出演)

◆ミニステージ  
はろ少年少女合唱団「ハルフェニックス」  
ミュージカル「あしたの地球とあなた」

◆こども国際交流報告  
◆中海・宍道湖の未来へのメッセージ  
◆「中海・宍道湖を知る学ぶ展」ミニ展示

◆移動展示  
◇松江サティ 9月18日(土)~ 9月25日(土)  
◇米子鬼太郎空港ビル 10月 2日(土)~10月17日(日)  
◇ジャスコ古津店 10月19日(火)~10月29日(金)

松江環境フェスティバル(くにびきメッセ大展示場)  
10月9日(土) 10:00~15:00  
テーマ:「自然環境~生物多様性~」

【松江会場】記念展示 TEL:0852-22-6377 高橋自然環境課  
【米子会場】記念シンポジウム TEL:0857-26-7870 鳥取県水・大気環境課水環境保全室

主催:高橋研、鳥取県、松江市、出雲市、安来市、東出雲町、安来町、水子市、浜田市 協賛:環境省中国四国地方環境事務所、国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所  
地球のいのち、つながりどころ